

令和4年9月1日発行 第5号 生徒数 615名



上青木中だより

凡事徹底

～当たり前前（の）のことが当たり前前（に）できる生徒・学校・教職員～

夏の体験を通し、更なる飛躍へ・・・

「上青木中の力を見せる！」 2学期スタート

校長 小野 毅

42日間にわたる夏休みも終え、2学期がスタートしました。連日の猛暑の続く8月でしたが、上青木中の生徒たちの元気な声が学校に戻ってきました。生徒たちが明るく、さわやかな笑顔で始業式を迎えられたことが何といっても一番です。また、家族そろって楽しく充実した夏休みの体験が、子供たちを心身ともに大きく成長させたことと思います。

夏休みに入りすぐに、県学校総合体育大会がありました。本校からはソフトテニス、陸上競技、水泳競技、柔道、剣道が出場しました。どの競技も熱い戦いを見せてくれました。そして、ソフトテニス、水泳競技、剣道は県学校総合体育大会においても上位の成績を収め、関東大会に出場しました。さらに、水泳 さん、ソフトテニス さん、 さん、 くん、 くん、 くん、 くん、 くん、 くん、

くんは全国大会にも出場しました。ソフトテニス男子団体では、全国優勝という快挙を成し遂げました。精一杯最後まであきらめずに力を発揮してくれた皆さんに心より拍手を送りたいと思います。また、吹奏楽部が吹奏楽コンクールにおいて、県大会で金賞を受賞し、西関東大会（9月3日山梨県で開催予定）への出場を決めました。

たくさんの感動をありがとう。

さて、今年、甲子園で行われた野球の全国高校選手権大会は、コロナ禍前のように観客を入れて開催されました。そのような中、岐阜県代表の県立岐阜商業がコロナの集団感染により、登録メンバー18人中10人を入れ替えて試合に臨まなければならなくなりました。甲子園はおろか県予選でも試合に出場したことがない選手がたくさん出場していました。このようなチーム状況の中、試合に出場した選手は堂々と自分のもっている力を発揮していました。残念ながら試合には負けてしまいましたが、必死にプレーする選手たちを見て、胸を打たれました。

上青木中でも7月に行われた県大会で、控えの選手が急遽試合に出場しなければならない状況が起きました。その生徒はかなりのプレッシャーがかかったと思います。プレッシャーのかかる中、これまで培ってきた実力を存分に発揮し、見事に試合に勝つことができました。レギュラーになることをあきらめ、日々の練習を疎かにしていたら、このような結果は得られなかったと思います。毎日、コツコツと努力してきた姿を思い浮かべながら、堂々と試合に臨んでいる姿を見ると、涙があふれる想いでした。

この夏は部活動で大きな成果を残すことができました。これまで指導して下さった顧問の先生、物心両面で子供たちを支援していただいた保護者の皆様に感謝の気持ちでいっぱいです。

今学期も学校・家庭・地域が一体となって「上青木中の力」を発揮したいと思います。皆様のご理解とご協力、なお一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。